

# 今後のスケジュール（イメージ）

※「獣医師の需給」部分について、随時、農水省・厚労省による判断・対応が必要。

平成28年  
10月

第2回今治市分科会、区域会議、国家戦略特区諮問会議  
（方針決定）（文科・農水・厚労大臣出席）

「成田市」に比  
べ3ヶ月遅れ

（自民党・公明党の文部科学部会等へ報告）

12月

特例告示制定

特定事業を実施すると見込まれる者の公募 ※最短8日間

第3回今治市分科会（応募事業者の方針への適合確認）

区域計画に定めようとする特定事業の実施主体  
の公表及び追加申出 ※最短6日間

競合があった場  
合、事業者選定  
にさらに時間が  
かかる見込み

平成29年  
1月

区域会議、国家戦略特区諮問会議  
（区域計画決定、文科・農水・厚労大臣出席）

区域計画を内閣総理大臣認定

3月

設置認可申請

教員確保や施  
設設備等の準  
備が間に合わ  
ない可能性

8月

審議会の審査を経て、文科大臣が認可

学生募集

平成30年  
4月

開学

## ○ 先端ライフサイエンス研究や地域における感染症対策など、新たなニーズに対応する獣医学部の設置

(既存の大学・学部では対応が困難な獣医師養成の構想が具体化し、)人獣共通感染症を始め、家畜・食料等を通じた感染症の発生が国際的に拡大する中、創薬プロセスにおける多様な実験動物を用いた先端ライフサイエンス研究の推進や、地域での感染症に係る水際対策など、獣医師が新たに取り組むべき分野における具体的な需要に対応可能とするため、近年の獣医師の需要の動向も考慮しつつ、全国的見地から、現在、獣医師系養成大学等のない地域において獣医学部の新設を可能とする認めるため、関係制度の改正を直ちに行う。

### 【修正理由】

原案では、原案を含む構想を提案する大学はすべて新設可能となるため、日本再興戦略改訂2015の趣旨を踏まえ、特定事業者に求められる要件を明確化する必要があるため。

※上記の修正案は、以下の対応がなされることを前提したものであり、内閣府において関係省庁と調整いただきたい。

- (1) 告示の改正後、公募前までの間に、内閣府、文部科学省、農林水産省、厚生労働省において、特定事業者に求められる要件について定め、公表すること。
- (2) 獣医師の需給を所管する農林水産省及び厚生労働省において、今後の獣医師の需要の動向を明らかにした上で、それに照らして今治市の構想が適切であることを示すとともに、当該決定に記載の「獣医師が新たに取り組むべき分野における具体的な需要」を踏まえ、新設可能な獣医学部の規模を示すこと。
- (3) 早期の獣医学部新設を円滑に進めるためには、日本獣医師会等の関係者の十分な理解と協力が得られるよう、農林水産省及び厚生労働省において、責任を持って意見調整を行うこと。

差出人: [redacted]@cao.go.jp  
送信日時: 2016年11月1日 火曜日 14:51  
宛先: [redacted]  
件名: 【内々に共有】獣医学部のWGについて  
添付ファイル: (農水省)登録用紙.xlsx; 【議事概要】20161101文科省ヒア(獣医学部新設).docx;  
20161101F審議官修正指示後.pdf

行草室 [redacted] 様 ← 内閣府 [redacted]

お疲れ様です。

標記の件、内々に共有します。

まず、10:45に文科省と藤原審議官の間で内々に事務打合せがあり、佐藤参事官と私も同席しましたが、修正案(添付の手書き前の状態)について、日本語の観点の修正や、冒頭の「既存の～」については、文科省の方で根拠を立証できないと、記載するのは難しいのではないかと指摘あり。

修正案の前提については、

- (1) → 了承。
- (2) → 文科省と農水省で要相談。
- (3) → 同上。

という状況です。

打合せの後の原委員とのWGについては、添付概要の通りとなります。

(修正文案途中なことを踏まえた上で、あくまで情報共有のためのWGといった体です)

その後、藤原審議官から再度文科省とのみ打合せ依頼がありましたので、そのまま別室で打合せして、添付PDFの文案(手書き部分)で直すように指示がありました。指示は藤原審議官曰く、官邸の萩生田副長官からあったようです。

現在、専門教育課は修正の通りに文章を修正し、15:00から文科大臣レクの模様です。

一応、レク後の修正文案を内閣府に報告するようにするとのこと。

(浅野課長の感触では、文科省としてはこれでOKだと思うとのこと。)

【農水省の対応状況】(※農水省に内々に確認しただけなので、厳秘)

- ・ 本日のWG対応者は添付の通り。
- ・ 獣医師の需給については農水省で全体の把握はしているものの、新しい分野でのニーズ調査とは行っていないので、よくわからない。
- ・ 1校に限るかどうかについては、特にコメントなし。